

令和4年度 文教福祉常任委員会意見交換会報告書

開催日時	令和5年1月11日（水）午後3時30分～午後5時30分
開催場所	富士見市役所 全員協議会室
テーマ	学校給食について
出席議員	川畑勝弘委員長 佐野正幸副委員長 田中栄志委員 熊谷麗委員 木村邦憲委員 篠田剛委員 今成優太委員
参加人数	参加者5人（団体名 富士見市学校給食センター運営委員会）
実施内容	<p>進行：佐野副委員長</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 議長あいさつ（斉藤議長） 3 委員長あいさつ（川畑委員長） 4 委員、参加者自己紹介 5 意見交換会の概要説明 6 意見交換（2グループに分かれ議題①～③を意見交換） <ol style="list-style-type: none"> ①調理業務等の民間委託へ期待する点と不安な点 ②現状の学校給食に期待すること ③給食費を公会計化することについて 7 各グループの意見発表 8 まとめ感想（佐野副委員長） 9 閉会（アンケート記入・回収） <p>議会事務局 戸谷 主任 大熊 専門員</p>

1 意見交換で出された意見の概要

① 調理業務等の民間委託へ期待する点と不安な点

- ・民間の効率的な仕事が入るのは良い。
- ・民間委託になることで給食時間の十分な時間確保につながることを期待する。
- ・現在の給食は評判が良いので質が保てれば問題無い。
- ・雇用形態時の待遇はどうなるのか、公表されるのか。
- ・子ども達が喜ぶような給食を望む。
- ・衛生面や残菜率が増えるか心配だ。
- ・アレルギー対策や不登校生徒への対応ができるのか不安だ。
- ・給食調理施設が老朽化しているので、業者が対応できるのか。
- ・業者が初めて使用する施設なので今までの職員が残ったほうが良い。

② 現状の学校給食に期待すること

- ・セルビアだけでなく他の国の料理も食べたい。
- ・廊下が長いので重い給食の入った容器を毎日、教室まで運ぶのが大変。途中でこぼしてしまう。
- ・給食を配膳室まで取りにいくときに担任も同行する。その際、教室は残りの児童のみになってしまいトラブルが発生することもある。今後は配膳作業の援助もして欲しい。
- ・黙食指導はいつまで続くのか、今は仕方ないとしても早く楽しい給食時間にして欲しい。
- ・ただ今の1～3年生までは黙食しか経験したことがないので解除になった時に対応できるか不安だ。
- ・おかわりできるだけの十分な量を今後も確保して欲しい。
- ・残飯がどうしても出てしまう。減らしていきたい。
- ・そもそも配膳と片付け時間を除くと食べる時間が10分ほど。料理の説明も出来ないし時間的余裕が欲しい。

③ 給食費を公会計化することについて

- ・口座の指定があり改めて口座をつくる家庭もあった。
- ・給食費を集めてきた教員の負担が減るのは良い。
- ・学校給食センターが不登校の子ども達や急に登校を再開した場合に対応できるのか疑問だ。
- ・口座振替にすることで払う人が減ってしまうかもしれない。

2 まとめ

学校給食調理業務の民間委託については民間のノウハウを生かした効率的な業務を期待する一方で、現在、好評なセルビア給食などおいしい給食の維持の要望、安全性やアレルギー対策などへの不安も出された。また老朽化した学校

給食センターの施設で民間業者が対応できるのか、現行の職員を引き続き雇用しながら、その技術が引き継げるのかという疑問も話された。

日々の給食の現状については、配膳業務における子ども達や教員の負担や、喫食時間の短さなどが語られ、授業がある一日の流れの中で、どのように給食時間を位置づけて確保していくかという課題が明らかになった。

またコロナ禍で黙食が継続される中、再び子ども達にとって楽しい時間にしていって欲しいという要望も出された。

公会計化については、滞納する世帯を困窮のシグナルとしてきたが、今後は別のシグナルをとらえ対応していきたいという思いも語られた。

学校給食をめぐる様々な問題や意見、日々の取組を伺うことができ、今後の課題も浮き彫りになった有意義な意見交換会となった。

※この記録は、意見交換会での発言をまとめたものです。

発言内容は、趣旨が読み取れる範囲で一部要約してあります。